

2013●図書館展示 1月

2013年1月8日～2月2日

ニーノ・ロータ

Nino Rota 1911 - 1979

Part II

ニーノ・ロータのクラシック音楽

企画●国立音楽大学附属図書館広報委員会

場所●図書館ブラウジングルーム・AV資料室

CONTENTS

ニーノ・ロータの略歴	1
ニーノ・ロータのオペラ作品	2
展示資料	
<パネル>	5
<図書>	5
<紀要>	6
<雑誌>	6
<楽譜>	6
<録音資料>	7

2013年1月13日(日)に講堂大ホールにおいて、音楽研究所オペラ演奏研究部門の公演「ニーノ・ロータ 喜劇「ノイローゼ患者の一夜」抒情劇「内気な二人」」が行われます。それに伴い、図書館では昨年度に引き続きニーノ・ロータの展示を実施いたします。今回はニーノ・ロータ関連の資料のうち、クラシック音楽に焦点を当てて展示いたします。

ニーノ・ロータの略歴

1911年、イタリアのミラノに生まれた。母方の祖父ジョヴァンニ・リナルディはピアニストで、祖母ジョコンダ・アンフォッシもピアノを弾いた。ロータは音楽的に大変恵まれた環境で育ち、幼いころから母にピアノを、A.ペルラスコにソルフェージュを学び始めた。ロータの家は大変有名で、ミラノに立ち寄る音楽家たちの多くはロータの家を訪れた。その中にはストラヴィンスキーもあり、以降、ロータとの親交を深めていった。

ロータは4歳でピアノ演奏をこなし、7歳から作曲を始めた。11歳でオラトリオ《幼き聖ジョバンニ・バッティスタ》を作曲し、この曲は翌年(1923年)ミラノの盲学校やフランスのリールで演奏されて成功を収めた。マスコミは「20世紀のモーツァルト(1923.10.21「ニューヨーク・タイムズ」)などと称賛した。

12歳でミラノ音楽院に入学。イルデブランド・ピッツェティに師事し、厳格な古典的骨組みを教えられた。後にローマのサンタ・チェチリア音楽院でアルフレード・カゼッラに師事し、シンプルな作曲技法に多大な影響を受けた。1930年、亡き祖父の友人であったアルトゥーロ・トスカニーニの推薦を受け、米国のフィラデルフィアにあるカーティス学院に2年間留学した。留学中は、作曲理論、指揮法、音楽史を学んだ。この時期、イタリアの指揮者トスカニーニや作曲家コープランドらと親交を結んだ。イタリアに帰国後、ミラノ大学芸術科に入学して文学と哲学を修めた。1939年からはバーリ音楽院で和声と作曲の教授を務め、1950~1977年までは院長として教育にも力を注いだ。

1979年、心臓発作により急逝した。

(2011年6-7月の展示パンフレットより)

ニーノ・ロータのオペラ作品

パネル展示では、本学の『音楽研究所年報』第24集（2011年度）所収の「ニーノ・ロータ作品カタログ」から、ニーノ・ロータのオペラ12作品を抜き出して表にしました。そちらは『年報』をご覧ください。ことにして、このパンフレットでは、各オペラのあらすじをわかる範囲で簡単にご紹介します。

La Parisina (ラ・パリジーナ)

ニーノ・ロータが11歳のときの作品で、マスカーニ作曲の「パリジーナ」と同じの台本を使っています。

内容は、フェッラーラ侯ニコロ3世の妻パリジーナがニコロの庶子ウーゴと愛し合ったために二人とも処刑されたという有名な話に基づいています。

* マスカーニのオペラのあらすじ (英文)

[http://en.wikipedia.org/wiki/Parisina_\(Mascagni\)](http://en.wikipedia.org/wiki/Parisina_(Mascagni)) (参照 2012.12.21)

* マスカーニ作曲のオペラ「パリジーナ」のCD (英語対訳付) 請求記号 XD64449-64450

Il principe porcaro (豚飼いの王子)

アンデルセンの寓話『豚飼いの王子 Svinedrengen』をもとにしています。

原作は、小さい領地の、貧しい王子が主人公で、魔法のバラと鶯を贈り物に、皇帝の娘に求婚に行きますが、お姫様はその価値がわからずに贈り物を突き返して王子を追い返してしまいます。そこで、王子は豚飼いに変装して皇帝の城に入り、魔法のおもちゃを作ってお姫様の気を引き、お姫様に仕返しをする話です。

* アンデルセンの原作 『アンデルセン童話集』 東京：新書館, 2005. 請求記号 J107-241

Ariodante (アリオダンテ)

ルドヴィゴ・アリオストの叙事詩『猛り狂ったオルランド L'Orlando furioso』が原作です。46歌あるうちの第5～6歌がアリオダンテの話です。ヘンデル作曲のオペラ「アリオダンテ」も原作は同じですが、台本作者が違います。

悪役ポリネッソ侯爵が、自分に思いを寄せる侍女ダリンダを使って、ギネヴァ姫と相思相愛のアリオダンテの仲を引き裂こうと目論みます。ギネヴァ姫に変装したダリンダとポリネッソが逢引するところをアリオダンテに見せると、アリオダンテは悲嘆のあまり、自らの命を絶とうとして... この続きは、原作の叙事詩で読んでください。

* 原作：アリオスト[著], 脇 功訳 『狂えるオルランド』名古屋：名古屋大学出版会, 2001. 請求記号 C65-832

* ヘンデル作曲のオペラのCD (日本語対訳付): 請求記号 XD39751-39753

Torquemada (トルケマーダ)

ヴィクトル・フーゴの同名戯曲をもとにした音楽劇。トマス・デ・トルケマダ

(ThomásdeTorquemada, 1420?-98)は、スペインの異端審問の初代大審問官として、異端に対して大規模な迫害と処刑を行ないました。

*トルケマダの伝記：『世界伝記大辞典 7. 世界編』, p. 32-34. 東京：ほるぷ出版, 1981. (請求記号 R280/SD/12)

*ヴィクトル・フーゴの原作(フランス語): Victor Hugo "Théâtre complet. II", p. 135-282. [Paris]: Gallimard, c1963-c1964. 請求記号 J4-628

Il cappello di paglia di Firenze (フィレンツェの麦わら帽子)

フランスの喜劇「イタリアの麦わら帽子」をもとに、ニーノ・ロータが母エルネスタの助けを借りて台本を書きました。

おはなしは、結婚式の朝、新郎の青年が馬車に乗って家に向かう途中、鞭を木の枝に引っ掛けてしまったことから始まります。鞭をとっている間に、青年の馬が麦わら帽子を食べて…。端切れになった麦わら帽子は、その木陰で恋人と逢引していた若い夫人のものでした。夫にもらった帽子なしでは家に帰れない、同じ帽子を持ってこいと二人に脅されて、奔走する青年。花嫁の父、夫人の女友達、嫉妬深い男爵(夫人の夫)などを次々巻き込んで、大騒ぎのコメディ・オペラです。

*この作品のCD (英語対訳付): 請求記号●XD40515-40516
(対訳なしは、請求記号●XD57178-57180)

I due timidi (内気な二人)

音楽研究所・オペラ演奏研究部門の今年度の演目です。

ラジオ用にリクエストされて書かれたので、情景が見えなくて、聞こえることだけを頼りに物語が進んでいきます。

下宿屋の窓の向こうに見えるピアノを弾く女性に恋した青年と、ピアノを弾く時、向こうの下宿屋の窓に見える青年に恋をした女性の物語。二人は内気で目を合わせることもできない…。(この続きは、是非、オペラ公演で!)

*この作品のCD (英語対訳付): 請求記号●XD66300

La scuola di guida (自動車教習所)

マリオ・ソルダーティによる純愛劇

自動車教習所の教習車の車内だけで起こる物語。

Lo scoiattolo in gamba (頑張り屋のリスさん)

ニーノ・ロータの息子が学校の宿題のために書いたお話をもとに作った寓話オペラ。

若いリスが、両親を亡くして、歯まで失った自分の不幸を嘆いていました。すると、リスの王様が来て「食べ物をいっぱい集めたら、その代わりに金の歯をあげよう!」と言ってくれました。一ヶ月後、王様は約束を守るよう求めてきたけれど、歯はもう

自然に生えてきていたので、集めた食べ物を全部かくして逃げました、という話です。

La notte di un nevrastenico (ノイローゼ患者の一夜)

音楽研究所・オペラ演奏研究部門の2011年度の演目です。今年度も再演されます。オペラの舞台は、ミラノの高級ホテルの最上階。客室が3つの続き部屋があります。物音に過剰反応するノイローゼ患者の男は、安眠のため3部屋全部を借りていますが、見本市の開催期間中、ホテルは男に無断で、両脇の二つの部屋を違う客に貸してしまいます。退役軍人社長と新婚旅行と偽っているカップルがそれぞれの部屋を借りますが、ノイローゼ患者の男は静かに眠ることができるのでしょうか。

* この作品のあらすじと対訳（日本語訳付）： 『国立音楽大学 音楽研究所年報』第24集
請求記号・PB102F 24

* この作品のCD（英語対訳付） 請求記号・XD66300

Aladino e la lampada magica (アラジンと魔法のランプ)

原作は「千夜一夜物語」の中のお話です。

魔法のランプを擦ると魔人が表れて、擦った者の願いを叶えてくれる。その力を使って大金持ちになり、皇帝の娘と結婚するという有名な物語。図書館でも、ディズニーのアニメ映画が大人気です。

La visita meravigliosa (奇跡の訪問)

H.G. ウェルズのSF小説をもとにしたオペラです。

時は1900年、イギリスの片田舎に天使が降りてきました。牧師は鳥と間違えて天使を撃ってしまいます。飛ぶことができなくなった天使は、牧師の館で手当てを受けますが、牧師の仲間や村の人たちからは精神を病んでいると思われ、次第に苦しい立場に追いやられます。ただ一人、牧師館の小間使いの娘だけは天使を理解してくれて、心が和みますが、村の人たちは娘目当てではないかと悪い評判を立てます。天使の羽は次第に退化しはじめ、もう飛んで天国に帰れなくなってしまいました。さて、天使はどうなってしまうのでしょうか？

* この作品のCD（英語対訳付）： 請求記号・XD66522-66523

Napoli milionaria (ナポリ億万長者)

原作はコメディ映画。

ナポリのある家族の話。1942年、夫が出兵した後、残された家族は食べていくため、闇市で稼ぎ、犯罪や社会の闇に手を染めていく。戦争が終わって、夫が辛い捕虜生活から戻って来た時は、もう家族は取り返しのつかないところまで深みにはまっています、悲劇的な結末で終わります。原作がハッピーエンドで終わるのを書き換えたということです。

展示資料

<パネル>

ニーノ・ロータ 1 歳 : 4連写真ニーノ・ロータ

誕生日は、1911年12月3日。本名は、Nino Rota Rinaldi です。

出典:Nino Rota : le immagini & la musica / Pier Marco De Santi. Firenze : Giunti, c1992, p. 16. (請求記号 J121-530)

母 エルネスタ・ロータ・リナルディ

ロータは、優れたピアニストで、ニーノは幼いころ、母にピアノを習い始めた。

出典:Nino Rota : le immagini & la musica / Pier Marco De Santi. Firenze : Giunti, c1992, p. 16. (請求記号 J121-530)

ニーノ・ロータ 11 歳 : オラトリオ初演の指揮

オラトリオ「聖ヨハネの幼児期」を作曲。1923年4月23日、ニーノ・ロータ自身の指揮で初演が行われ、大喝采を浴びた。

出典:Nino Rota : le immagini & la musica / Pier Marco De Santi. Firenze : Giunti, c1992, p. 19. (請求記号 J121-530)

ニーノ・ロータ 11 歳 : 新聞記事

1923年10月21日付のニューヨーク・タイムスに「20世紀のモーツァルト」と紹介された。ロータのサイン入り。

出典:雑誌 Wave. 32号 東京 : Wave, 1992, p. 93. (請求記号 P1446 32)

ニーノ・ロータ 19~21 歳

1930~1932年、トスカニーニの推薦を受け、フィラデルフィア(アメリカ合衆国)のカーティス大学に留学。この時代、トスカニーニと親交を結んだ。

出典:雑誌 Wave. 32号 東京 : Wave, 1992, p. 101. (請求記号 P1446 32)

ニーノ・ロータ 帰国~26 歳まで : ミラノ大学 正面

帰国後、ミラノ大学芸術学科で文学と哲学を勉強し、1937年卒業しました。

出典:Britannica Image Quest. File name: 105_1397374-W.jpg

ニーノ・ロータ 29 歳 : バリ音楽院 正面

南イタリア、タラントでの音楽教師の仕事を経て、1939年からバリ音楽院で和声と作曲の教授を務めました。

出典:http://it.wikipedia.org/wiki/File:Bari_Conservatorio_di_musica_Niccol%C3%B2_Piccinni.jpg (参照 2012-12-21)

晩年のニーノ・ロータ

1950~1977年まで、バリ音楽院の院長を務め、1979年4月10日、ローマで心臓発作により亡くなりました。

出典: Piano music [録音資料] / Nino Rota. [Leeuwarden] : Brilliant Classics, [2009]

(請求記号 XD66299) 解説書, p. 23.

ニーノ・ロータ関連 イタリア地図

<図書>

a cura di Giovanni Morelli "Storia del candore : studi in memoria di Nino Rota nel ventesimo della scomparsa"

[Florence] : L.S. Olschki, 2001 請求記号 J121-686

ニーノ・ロータの20回忌記念論文集。

Pier Marco De Santi "Nino Rota : le immagini & la musica"

Firenze : Giunti, c1992 請求記号 J121-530

ニーノ・ロータ関連の写真が多数掲載されている。しかし、クラシック音楽に関する記事は少ない。

a cura di Francesco Lombardi "Fra cinema e musica del Novecento : il caso Nino Rota : dai documenti"

[Florence] : L.S. Olschki, 2000 請求記号 J121-685
手紙、書評、インタビューなどを集めたドキュメント集。

testo di Ernesta e Nino Rota ; musica di Nino Rota ; dalla commedia di E. Labiche e Marc-Michel
"Il cappello di paglia di Firenze : farsa musicale in 4 atti e 5 quadri"

Milano : Ricordi, 1955 請求記号 X0-279
オペラ (フィレンツェの麦わら帽子) のリブレット。

libretto di Riccardo Bacchelli ; musica di Nino Rota
"La notte di un nevristenico : dramma buffo in un atto"

Milano : Ricordi, 1960 請求記号 X0-210
オペラ (神経衰弱患者の夜) のリブレット。

< 紀要 >

『国立音楽大学 音楽研究所年報』第 24 集 (2011 年度)
国立音楽大学音楽研究所, 2012 請求記号 PB102F/24
ニーノ・ロータに関する論文なども複数掲載されている。

< 雑誌 >

『Wave』 32
Wave, 1992 請求記号 P1446/32
ニーノ・ロータの特集号。

< 楽譜 >

"Il cappello di paglia di Firenze"
Milano : Ricordi, c1956 請求記号 F13-700
オペラ (フィレンツェの麦わら帽子) のヴォーカルスコア。
1955 年、パレルモ・マッシモ劇場で初演。

"La notte di un nevristenico"
[Milano] : Ricordi, 1982, c1961 請求記号 F15-118
オペラ (神経衰弱患者の夜) のヴォーカルスコア。
1959 年放送初演、1960 年、ミラノ・スカラ座で舞台初演。

"Concerto soirée ; per pianoforte e orchestra"
Milano : Ricordi, [1988], c1962 請求記号 H29-670
ピアノ協奏曲 (コンチェルト・ソワレ) 1961 ~ 2 年。

"Variazioni e fuga nei dodici toni sui nome di Bach"
Milano : Carisch, c1972 請求記号 G28-420
(バッハの名前に基づく変奏曲とフーガ) 1950 年。
自身によるピアノ用編曲 (原曲はオーケストラ)。

"Fantasia sopra 12 note del Don Giovanni"
Milano : Edizioni Carisch, c1971 請求記号 G31-727
(“ドン・ジョヴァンニ”からの十二音に基づく幻想曲) 1960 年。
自身による 2 台ピアノ用編曲 (原曲はピアノとオーケストラ)。

"Kadenzen ; Konzert für Flöte, Harfe und Orchester in C-Dur von Wolfgang Amadeus Mozart"
Mainz ; Tokyo : Schott, c2004 (Cadenza Serie ; 2) 請求記号 H42-496
モーツァルト (フルートとハーブのための協奏曲) K.299 のカデンツァ。

"Cantico in memoria di Alfredo Casella"

Mainz ; Tokyo : Schott, c2000 請求記号 H39-223

(アルフレード・カゼッラの思い出に) 1947/72 年。

ロータは、ローマのサンタ・チェチリア音楽院でカゼッラに師事した。

"Petite offrande musicale, pour flu e, hautbois, clarinette, cor, et basson"

Paris : A. Leduc, 1955 請求記号 H11-400

"Sonata in sol per viola e pianoforte"

Mainz ; Tokyo : Schott, c2000 請求記号 H39-320

"Lo spiritismo nella vecchia casa : musiche di scena per il testo omonimo di Ugo Betti : per clarinetto solo in sib : 1950"

Mainz ; Tokyo : Schott, c2007 請求記号 H44-679

"Divertimento concertante : per contrabbasso e orchestra"

Milano : Edizioni Carisch, c1973 請求記号 H40-980

"15 preludi per pianoforte"

Roma : Edizioni Musicali, c1981 請求記号 G21-289

"Motet for soprano, tenor and organ"

Mainz : Schott, c2011 請求記号 F26-656

"Trio per clarinetto, violoncello e pianoforte"

Mainz ; New York : Schott, c2002 請求記号 H47-210

"7 pieces for children : for piano"

Milano : Ricordi, c1981 ((1999 printing)) 請求記号 G28-432

"Quartetto per archi, 1948-54"

Mainz ; Tokyo : Schott, c2000 請求記号 H39-222

"Improvviso : per violino e pianoforte"

Milano : Edizioni Curci, c1969 請求記号 H39-424

< 録音資料 >

" I due timidi ; La notte di un nevristenico "

Bologna, Italy : Bongiovanni, [2004?] 請求記号 XD66300-66301

Flavio Emilio Scogna (指揮)

2003 年録音

"Piano music"

[Leeuwarden, The Netherlands] : Brilliant Classics, [2009] 請求記号 XD66299

2008 年録音

"Opere per flauto"

Villanova di Castenaso, Bologna, Italy : Tactus, p2011 請求記号 XD66860

2009 年録音

Roberto Fabbriciani, Luisella Botteon (フルート)、 Massimiliano Damerini (ピアノ)

"Cello concertos"

Colchester, Essex, England : Chandos, p2001 請求記号 XD66448

2000 年録音

"Complete music for viola and piano ; Complete music for violin and piano"

[Germany] : Arts Music, p2007 請求記号 XD66520

2006 年録音

“Concerto per violoncello n. 2 : 1973 ; Concerto per archi : 1977 ; Trio per clarinetto, cello e piano : 1973”
Italy : Concerto, p2009 請求記号 XD64803
2008 年録音
パルマ合奏団

“Mysterium : oratorio”
Thun, Switzerland : Claves, p1993 請求記号 XD29242
1962 年録音
Armando Renzi (指揮)

“Symphony collection”
[Tokyo] : Firebird, 1998 請求記号 XD39927
1997 年録音
日本フィルハーモニー交響楽団 ; 大友直人(指揮)

“Concertos”
Colchester, Essex, England : Chandos, p2002 請求記号 XD52049
2000 年録音
Marzio Conti(指揮)

“La visita meravigliosa”
Milano, Italia : La Bottega Discantica, p1995 請求記号 XD66522-66523
1993 年録音
Giuseppe Grazioli(指揮)

“Nino Rota”
Genova, Italy ; [東京] : 輸入・発売元: キングインターナショナル, 1999 請求記号 XD41617
1997, 1998 年録音

“Il cappello di paglia di Firenze = The Florentine straw hat”
Portland, OR : Allegro, p2005 請求記号 XD57178-57179
1976 年録音
Elio Boncompagni(指揮)

展示パンフレットは図書館ホームページからも入手できます。(バックナンバーも公開しています。)
<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/tenji/tenji.htm>

2013/1/8 編集 国立音楽大学附属図書館広報委員会 : 撰正弘・田村和子